

西安旅行～太原からバスで7時間の旅～

今回のレポートでは、中国の学生旅行団に友人と一緒に参加し西安に行った旅行について特集します。

今回の旅行では、バスに乗り7時間近く山西省を南下し、陝西省に入りました。通常では高铁（中国語ではガオティエと発音します）で行くのですが、行程上駅から遠い場所にも行くためバスにしたそうです。途中、太谷や临汾（リンフェン）という都市のパーキングエリアに止まり休憩しました。

中国と日本のパーキングエリアに共通しているのは、コンビニのように品ぞろえが多いことです。カップラーメンや飲み物、地域の特産品が売られていました。価格も街の食堂よりも高く設定されていました。異なった部分としては、給湯器が設置してありカップ麺やお湯を汲む人が列をなしていたことです。中国ではお茶の代わりに「白湯」を飲む習慣があり、今回止まったサービスエリアでも無料で提供されていました。

高速道路の道路状況は、整備されていて日本の高速道路を走っているような感覚でした。中国では一般道（特に市街地）では渋滞がひどく、通勤ラッシュ時には非常に混雑してしまっていますが、高速道路では全くそのようなことはありませんでした。日本ではありえないことですが、国慶節や春節の期間には高速道路が無料で開放されるらしく、誰でも利用できるそうです。

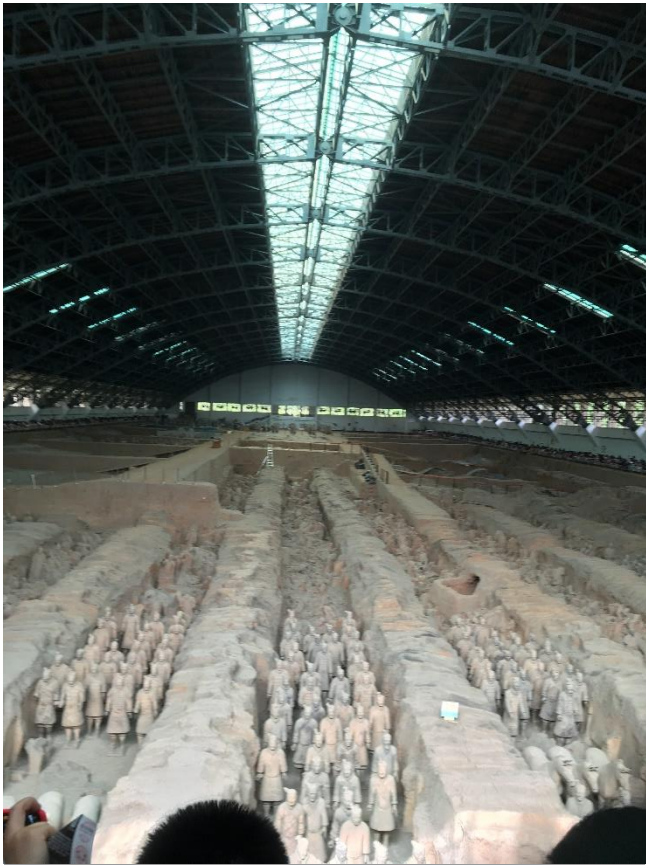
西安に着いてからは、歴史的にも有名な兵馬俑や、2000メートル級の「華山」に行きました。兵馬俑は休日だったため観光客であふれかえっていましたが、生で見る兵馬俑は非常にダイナミックで迫力がありました。兵馬俑のある場所は西安市内から少し離れた場所に位置し、バスで約30分行ったところにありました。全体はドームに覆われており、遺跡を保護する構造になっていました。

兵馬俑で驚いた点は、像の身長がとても高いということです。現在の中国人の身長1.3倍ほどあると友人から言われました。古代の中国人の身長は現在の中国人の身長よりも高く、体つきもがっしりとしているとガイドの方が説明していました。

兵馬俑へ行った後には、華山に向かい一晩中かけて登山を行いました。登山と聞いていてたくさん準備しましたが、中国の友人は非常に軽装備で登って行きました。中国では登山が人気なようで、老若男女問わず楽しんでいました。山道はきちんと整備されており、日本の山よりも整備されているという印象を受けました。道の途中にはトイレやお店もあり、飲み物や食べ物には全く困りませんでした。



PAで見かけた広告。
速度の出しすぎには注意しましょうという看板です。



兵馬俑
教科書で見るのは像だけですが、
建物はこのようになっています。



華山からの眺め
この日は天気にも恵まれず、
日の出を見ることはできませんでした。